

平成26年9月決算議会

平成26年度9月議会が開催されました。この9月議会は平成25年度の決算と、9月の補正予算が審議されました。

今議会の主な内容などをご紹介します。

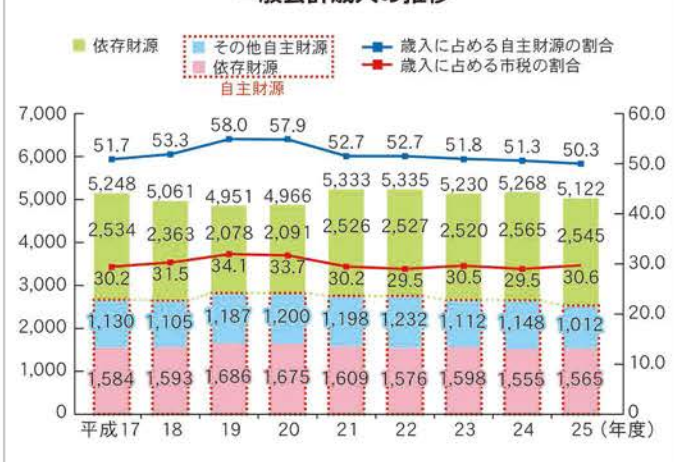
▶ 歳入の特徴

■市税が2年ぶりの増加

市税収入は前年度比で約10億円増加の1565億5500万円となりました。個人市民税は、納税義務者の増加と株式等譲渡所得割が増加で約3億円の増収、法人市民税は、円安・株高の影響もあり前年度比5500万円の増収となりました。

たばこ税は、売り上げ本数自体は減少したものの、税率の引き上げの影響で増収となり、前年度比8億4000万円の増収となりました。

一般会計歳入の推移



大久保むがからの ご報告



私事で大変恐縮ではございますが、このたび2014年9月26日に結婚いたしました。皆様方にはこれまで温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。そして長らくご心配をおかけいたしまして申し訳ありませんでした。これまでも、そしてこれからいっそう身を引き締めて議員活動に励んで参ります。今後ともご声援をよろしくお願い申し上げます。

■地方交付税などは若干の減・市債発行額も約76億円の減

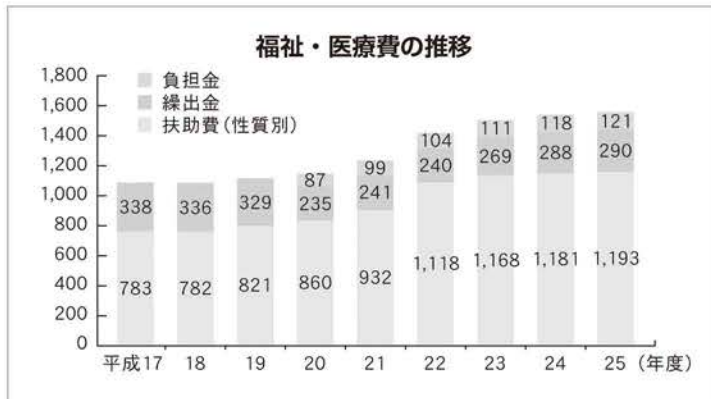
地方交付税554億円、地方交付税の振り替えにあたる臨時財政対策債を合わせた地方交付税は888億円と、前年度に比べ5億9400万円(-0.7減)となりました。また、市債発行額は316億円で、前年度比76億円、臨時財政対策債を合わせた市債発行額は650億6000万円となり、これも対前年度比で約45億円の減少となりました。

※臨時財政対策債…国の地方交付税の財源不足対策として、平成13年度に創設された地方債。その元利償還金相当額については、全額が後年度地方交付税で措置されることになっている。

▶ 歳出の特徴

■ 高齢化の進展による扶助費が7年連続増加

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療など各特別会計への繰り出し金は平成19年 1,149億円だったものが、平成22年には1,462億円で、平成25年度は1,604億円と7年連続の増加となっています。(グラフ参照)



■ 義務的経費が人件費の削減により2年ぶりの減

人件費は国家公務員の給与減額支給措置に準じた措置等により、対前年度比で48億7300万円減の638億4100万円となりました。

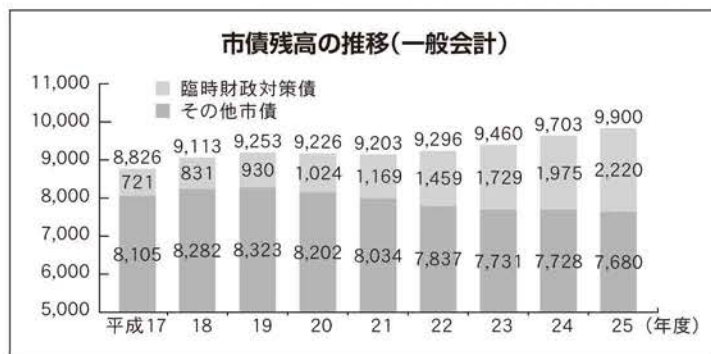
扶助費は生活保護費が7年ぶりに減少しながらも、障害福祉サービス費が対前年度比約12億円の増加で総額1,192億8900万円となり、過去最高となりました。

■ 財政調整用基金の取り崩しがゼロに

個人市民税や株式譲渡所得割交付税などの歳入が増となり、同時に人件費削減による歳出の減少などにより、2年ぶりに財源調整用基金の取り崩しがゼロになりました。これにより、平成25年度末における基金残高は前年度より22億円増の265億円となりました。

■ 市債残高

市債残高は7679億円で、前年度比47億8800万円減となりました。国の地方交付税の振り替えにあたる臨時財政対策債は225億円増の2220億円で、これを含めた市債残高は9899億6400万円で、前年度比196億5700万円増となりました。(グラフ参照)



市税は平成23年1598億円だったものが、平成25年1565億円と、この2年間で30億円近く減少しています。

2年ぶりの増収となっていますが、この増加分の大部分は、たばこ税の税制改正による税率の引き上げによるもので、全体の8割にあたります。

国の法人税率の引き下げによって、本市に入る法人市民税が減少するところが、昨年並みにとどまっているところをみると、企業業績が若干上向いてきていると判断できます。しかし、消費税の引き上げや、円安による物価高などで個人の可処分所得が実質的に減っているということを見れば、景気の持ち直しのような状況が続いているものの、私たちの実態的な景気はまだしばらく厳しい状況が続くのではないかと考えられます。

7月

- 2日 小規模保育事業についての勉強会
- 3日 三井金属視察(大牟田市)
- 4日 環境建設委員会
- 6日 馬島清掃団
北九州ドリームサミット
- 7日 八幡西区衛連会長
- 8日~10日 党九州沖縄議員団会議
党県連 青年委員会
- 11日 会派団会議
- 12日 ムーブフェスタ手伝い
- 13日 党県連政治塾第4回講義
- 15日 高校野球観戦
- 17日 市民カレッジ
- 18日 党青年委員会全国大会
- 20日 陣原夏祭り
- 21日 戸畑区中原海岸清掃
- 23日 市議会政策立案支援事業講演会
- 24日~25日 地方議会議員研修会(京都)
保健福祉局勉強会
- 26日 キラヴァンツ北九州 サッカー観戦
- 30日 全国若手市議会議員の会
(佐賀県鳥栖市)
- 31日 遠賀掘川ウォーク
北九州市民カレッジ

8月

- 1日 環境建設委員会
- 2日 ひまわり絵画展
北筑高校同窓会
- 3日 わっしょい百万夏祭り 百万踊り
- 4日 環境審議会
- 5日 保健福祉局勉強会
- 6日 馬島サマーキャンプ手伝い
市民カレッジ
- 7日 古典落語を守る会設立総会
- 9日 馬島サマーキャンプ手伝い
- 12日 環境建設委員会
いじめ防止サミットin北九州
- 17日 北九州のものづくりを学ぶ事業
議員インターンシップ合宿(上天草)
- 18日 市民暴力追放決起集会
- 19日 視覚障がい者団体と市担当課との意見交換会
- 22日 交換会
会派団会議
市議会政策立案支援事業に係る講演会
党統一街頭宣伝
- 23日 浅川台夏祭り
- 24日 キラヴァンツ北九州観戦
- 25日 市内障がい者施設を視察
若松区衛生総連合会会長訪問
- 28日 バスハイク見送り
会派勉強会
国道3号黒崎バイパス建設促進期成会
- 29日 会派勉強会
- 30日 党県連政策調査会

9月

- 2日 市議会9月議会 開会
- 3日 党県連 青年委員会
- 4日 党県連大会起草委員会
- 7日 馬島清掃団
- 8日 会派団会議
- 9日 本会議
- 10日 本会議
- 11日 本会議
- 12日 ごみステーション視察
本会議
- 13日 団基大会挨拶
ごみステーション視察
- 14日 北九州市民寄席
- 15日 ごみステーション視察
岩元県議県政報告会
- 16日 決算特別委員会
- 17日 決算特別委員会
- 18日 決算特別委員会
- 19日 決算特別委員会
- 20日 党福岡9区総支部常任幹事会
- 22日 決算特別委員会 市長質疑
- 23日 海とふれあいプロジェクト・海岸周辺清掃
- 24日 決算特別委員会
- 25日 本会議
- 26日 9月議会 環境建設委員会
- 27日 党県連政治塾第5回講義
- 29日 9月議会 環境建設委員会
きいたかし政経セミナー
- 30日 本会議

環境建設委員会トピックス

ごみステーションでのカラス対策について

市議会で私が委員長を務めさせていただいている環境建設委員会では、所管事務調査で市内のごみステーションのあり方について集中的な議論を積み重ねています。

ごみステーションは市内に約33,000ヶ所設置されており、市の調査ではそのうち約810ヶ所(全体の約2%)がカラスなどによる被害を受けながらも管理が行き届いていないステーションが存在している、との報告が上がってきています。

ごみステーションの課題

* ごみステーションの現在の課題は、

- 1 収集時間前からごみを出している人がいる。
- 2 ネットにしっかりと入れていない。
- 3 市外や地域外からのごみの持ち込み。
- 4 ごみの量に対してネットが小さい。
- 5 飲食店などからと思われるゴミが夜中に出されている。

などが考えられ、こうした結果ネコやカラスが飛来し生ゴミをつつき袋を破るなどの被害が出ており、極めて深刻な課題となっています。

行政側は環境審議会で、議会は環境建設委員会で

* 環境建設委員会でも、ごみステーションのカラス被害対策についての課題を所管事務調査に指定し、かつてないほどの時間をかけて集中的な議論を重ねています。

また、こうした議会の動きを受け行政側も動き出し、市長が環境審議会に対してごみステーションのあり方について諮問を行うことになりました。

環境建設委員会の取り組み

* 今年度からは委員会開催日を定例化に近い状態にし、各委員の協力を得て可能な限り開催日数を確保して議論を深めています。

さらに一歩踏み込んだ活動として、状況の実態をさらに詳しく把握すべく、所属する委員それぞれが門司・小倉南北・戸畑・若松・八幡東西各区の現地から30ヶ所近い地点を“管理が行き届いているところ、行き届いていないところ”に分けて抜き出し、現地での視察と周辺での聞き取り調査を行いました。



本市のごみ収集の歴史

本市が発足する以前	コンクリートごみ箱による収集
昭和38年	北九州市発足 ポリ容器による収集
昭和43年	ポリ袋による試験収集の開始
昭和46年	ポリ袋によるステーション収集の開始 町内会を通してポリ袋を配布
平成5年	カン・ビンの分別収集を開始
平成9年	ペットボトルの分別収集開始
平成10年	ポリ袋の無料配布の終了・一般ごみ指定袋制度の開始
平成18年	防鳥ネットの無償貸与開始 指定袋の料金改定 プラスチック製容器包装の分別収集開始

現地調査から浮かび上がった課題

* 私たちが現地調査を行った結果は委員会の中で報告されました。

- ・指定袋に入れれば、どこのステーションに出してもいいのかわかるか？
- ・朝8時半までに出せばいいのだから、前日の夜23時に出してもいいのではないのか？
- ・防鳥ネットに入れなければならないルールはないか？
- ・町内会に入っている人だけがステーションの管理をしなければならないのはおかしい。

など、地域からの生々しい声が聞こえてきました。

遅くとも年度末までには結論を

* 最終的な報告にはまだ時間がかかりますが、私が感じた感想から言うなら、ごみステーションの維持と管理にはその周辺に住んでいる方々による協力が欠かせません。しかし、近年特に都心部や単身マンションなどが多いところ、さらに飲食店の周辺などで地域のコミュニティ力が落ちている所は管理する力が落ちてきている、という印象があります。

逆にいえばステーションが「しっかりと管理されている場所」は、やはり地域の目が行き届いていたり、地域の方の協力で様々な対策がなされています。

議会では、新たに条例を作ってルールや罰則を明確にすべきか？条例の中に付け加えることができるか？既存のルールの中で対応可能か？など、様々な見地から検討を行います。ただ、条例や罰則となると多くの市民の皆様と直接かかわるところでもあり、慎重に検討を行わなければなりません。

さらに今後の人口減少と高齢化を見越し、これからのステーションそのもののあり方を今一度じっくりと見直す機会として捉えることもいいのかもしれない。

いずれにしても、遅くとも年度末までには一定の結論を見出す方針で今後とも議論を深めていくところです。

ごみステーションのあり方に関するご意見がありましたら、メール・FAXまでご連絡ください。

メール yahatanishi@mugamuga.net
FAX 863-5531



応援団活動支援の お願い

皆様へ

大久保むが応援団では、大久保むがの活動支援のため、応援会費(個人寄付)のご協力をお願い致しております。

ご協力を賜れる方は、下記お振込口座まで、お手続きくだされば幸いです。

今後とも、ご支援・ご協力よろしくお申し上げます。

活動支援会費(個人寄付)
会費：1口 1,000円～

福岡ひびき信用金庫
口座番号：1202105
口座名義：大久保むが応援団

※政治資金規正法により政治家個人は企業・団体からカンパ(寄付)を受けることができません。ご協力頂ける場合は「個人としての寄付」をお願いします。

※1年間1万円をこえる金額につきましては所定の手続きにより、確定申告の際に所得控除を受ける事ができます。

岩元県議会副議長の北九州市に関する県政報告

日頃からの市政、県政に対しますご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

お陰様で今年5月から県議会副議長を拝命し、議会内外で元気一杯活動させて頂いております。

さて、福岡県に生まれ暮らして良かったと実感できる「県民幸福度日本一」を掲げて頑張っている小川洋知事も1期4年の仕上げの年です。現場の意見を吸い上げ、県民の意見を大事にする姿勢、そして、北部九州での自動車生産150万台など産業雇用育成策や飯塚市内住の産廃問題対策など、わが会派も高く評価しています。

また、2006年から暴力団の仕業とみられる企業や県民への暴力行為など未解決問題が続いてきましたが、福岡県警は今年10月1日に工藤会幹部16名を逮捕し、14名を起訴しました。私も一般質問で県警本部長や知事に事件の解決などを訴えて参りました。議会としても「暴力団壊滅のため」の条例をつくるとともに意見書決議を行い、国に対して対策の強化や防犯カメラの設置を促進して参りました。

一方、これも私が昨年質問しました「年間500万人が利用する筑豊電気鉄道の車両更新やITC化」など北九州市から県への予算要望で最重点で上がっていました事業に県としても援助することが決まり、今年度から5年間行われます。さらに今年4月から開設されている黒崎コムシティ内の優良ドライバー免許センターも好評です。

福岡県は飲酒運転事故がこれまで全国でもワースト1、2と不名誉な記録を続けていましたが、これを何とかしなければならぬと議会が立ち上がりました。私も作成者の一員でしたが、議会提案条例として、全国初の罰則付き「飲酒運転撲滅条例」を制定し、県民の皆様のご協力により最悪の状況を脱しています。導入3年目を迎えましたので現在、その見直しが検討されています。また、危険ドラッグの対策として、販売などを独自に規制する「危険ドラッグ条例」の制定を、民主党の提案で12月の可決を目指し検討が行われています。

商店街対策では、プレミアム付き商品券が八幡西区内で三ヶ森商店街など4団体で売り出されていますが、その補助も県が行って売上げ効果を上げています。



議長席で議事を進行する岩元県議

また、利用が低迷している北九州空港対策として福岡空港と一体的運営を行い、福岡空港の発着枠を超える便を格安航空会社を中心に誘導したり、福岡都市圏とのアクセスを改善する計画が県議会で議論されています。

福岡県議会副議長 岩元 かずよし

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属、民主党福岡県第9区総支部常任幹事、NPO法人「KID's work」理事。



大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区別松2-9-2 Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531
http://www.mugamuga.net/ E-mail yahatanishi@mugamuga.net